

創立70周年 記念

梧桐会(同窓会)開催!!

5月10日(日)母の日 PM1:00~ 於大崎高校



第28号

昭和56年4月1日発行
発行所 梧桐会
東京都品川区豊町2-1-7
電話(786)-3355~6
都立大崎高等学校内
発行責任者 西林経博

今年こそあなたも

新会員は無料です

母の日に母校で同窓会。これは通知が届かなくても、母の日にかゝる思い出すし、女性も参加しやすい日であるという理由で続けられているのです。今年こそあなたの卒業アルバムに新しい写真を加えませんか。ぜひ連絡をとりあつておかけください。新会員はそれぞれの進路と抱負を語る場を利用してくださ。

出席予定の先生方

お世話になったあの先生に、
「元気ですか?」と一言、
「いたるが、お元気か?」
旧職員
小比呂美孝、橋本清之、相澤清洋
山口孝、田島賢亮、合坂晃
鈴木美奈、江野三郎、高木三郎
吉澤重子、上野洋、山田三郎
松本信義、野一朗、石原三秀
浜田洋行、野原 翠、三ツツイ

ご案内
日時 5月10日(日)
12時30分
受付開始 1時~4時
会費 500円
(新卒者は無料)
プログラム
会長の挨拶
学校長の挨拶
会計報告
新役員の承認



今年の総会風景

ボランティア募集
会報づくりには、皆さんの協力を
お願いいたします。

会報づくりに参加しませんか

用と手をかけています。それならもつとすばらしいものができな
いものかと思ひます。あなたのボ
ランティア精神を發揮して、会報

盛りあげよう同窓会

寄付のお願い

昨年は皆さんの方から寄附を
いただきましてありがとうございました。
また、寄附があつてこそ本会を
保つておられます。今年も一口
五円、十円を寄附いただき、会報の
発行・名簿整理・総会の開催など
を通じて梧桐会を盛りあげてい
きたいと思ひます。
一口5円、10円、20円、50円、
100円、200円、500円、1000円
の方を寄附をお願いします。同窓会
の当りも受け付けておきます。

- 第一勧業銀行戸越支店
東京都立大崎高等学校梧桐会
西林経博 口座五六一六〇六

- #### 新幹事
- 五十五年卒業
A組 小原明子、本間洋子
B組 栗林昭彦、高橋和美
C組 飯塚 靖、堀江俊一
D組 若山三三、川島正子
E組 西岡 満、佐野明美
F組 住吉 章、飯田裕子
G組 金野隆夫、吉田博美
H組 福島 昇、宮代千早子

- #### 昭和五十五年度 梧桐会寄付者御芳名
- 羽鳥幸子、北井洋子、最上マサ
子、村上文子、松岡都子、青良
則子、木村洋子、片岡貴子、中
子、鈴木朝子、岡林美津子、佐藤

昭和五十五年度 卒業生進路状況

- ##### 進学者
- 四年制大学 七二名
内訳は過年度卒のみ
千葉大 三 東京学芸大 一
岩手大 一 明治学院大 三
獨協大 三 青山学院大 六
上智大 二 日本大 十二
専修大 四 関東学院大 三
駒沢大 七 神奈川大 五
東洋大 五 金沢工大 一
成蹊大 四 千葉工大 一
法政大 六 東京理科大学 三
中央大 五 早稲田大 四
立正天 一 学習院大 一
明治大 九 国学院大 三
慶応大 二 武蔵工大 二
立教大 二 東京電機大 二
明星大 三 大妻女大 二
東海大 一 東京経済大 一
多摩美術大 一

- ##### 就職者
- 就職者 四二名
住友銀行 大栄信用金庫
大和証券 品川信用金庫
東急建設 東京電力品川支社
兼坂商事 日本道路公団
昭和無線 日本通運東京航空支店
東京会館 中里
東洋製作所 日本楽器製造
学習院大学 日産自動車
米山紙商事 CBSソニー
三井不動産 アルプス電気
新日本検定協会 味の素
全日空 東急ブリス・レストラン
品川区役所 大田区役所 税務
東京都庁 検察庁 全国知事会

- ##### 就業者
- 桜葉林大 一 亜細亜大 二
短大 六四名
専修学校 七二名

55年度決算		56年度予算	
収入	388,597	収入	393,641
繰入金	1,440,000	繰入金	1,440,000
雑収入	389,710	雑収入	200,000
合計	2,218,307	合計	2,033,641
支出	248,490	支出	260,000
繰出金	933,295	繰出金	1,200,000
雑支出	81,881	雑支出	100,000
合計	200,000	合計	200,000
繰入金	78,000	繰入金	100,000
雑収入	170,000	雑収入	170,000
合計	113,000	合計	3,641

提言



川村 治

お願ひ
大崎高校は本年四月十三日を
もつて創立七十年を迎えま
した。私達、大崎高校同窓会
としても六十二年の歴史を
迎えています。

提言
現在母校では記念誌発行
等の計画を進めておられますが、
梧桐会といたしましては、大に
協力したいと思います。

現状について
梧桐会の運営は卒業時の終身
会費によるまかなわれておま

幹事の仕事
ともかく同窓会幹事の仕事は
縁の下力持ち、あまり得な
役員にはありません。しかし必
要な人員がいなければ満足な活
動はできません。会員の中から
同窓会のために何かやってみ
ようという人を募ります。ぜひ
友を誘って来てくださ。

創立70周年記念

写真で見ると歴代校長



●四代校長 緒方浩之

明治44年創立時、初代校長、水町清、戦時中二代校長 桜井美、戦後復興期三代校長 山田忠三郎の諸先生の横顔を記憶されている方もいらっしゃると思いますが、割愛させていただきました。



●六代校長 有元石太郎



●五代校長 甲藤太郎



●九代校長 船本治義



●八代校長 倉又秀作



●七代校長 堀越源作



●十二代校長 小比賀実考



●十一代校長 長谷川美知男



●十代校長 松元俊雄

大崎高校沿革略史

明治44年 大崎町立実業補習学校
開校（生徒数10名）
昭和17年 同窓会（梧桐会）発足
昭和23年 東京都立大崎（新制）高等学校となり、定時制発足。校章制定
昭和24年 男女共学となる
昭和25年 現在地に校舎落成
昭和31年 校歌改訂。体育館落成
昭和37年 クラブハウス建設
昭和38年 鉄筋第一期工事落成
昭和44年 プール完成
56年4月現在の在校生の人員は次の通りです。
一年男子一六四 女子一七五
二年男子一七〇 女子二〇三
三年男子一六七 女子一九八
合計一〇七七名
教職員は六名です。

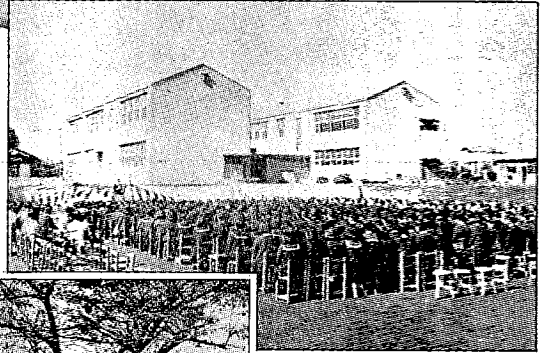
校舎の変遷



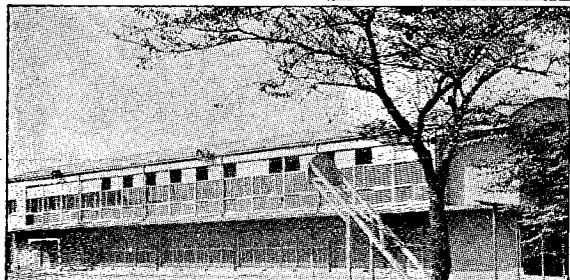
校章



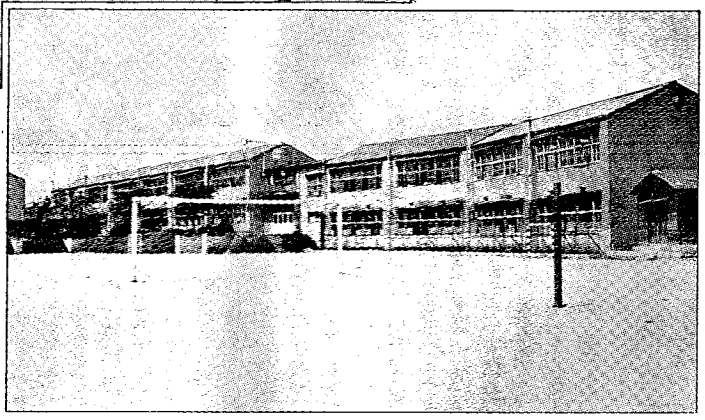
▲校門（福井藩主松平家御守殿門）
創立40周年記念に設置。三井不動産の寄附による。その後、補修費がかかると言う理由で手離すことになり、山中湖畔へ移された。



▲新校舎落成記念式 昭和25年11月



▲体育館落成 昭和31年



▲第二期増築校舎落成。昭和26年9月。校庭舗装なる。昭和36年

イングリッシュ われら同窓生

運動部のOB会は多いと思いますが、今回はささかアカデミックな感じの生物部のOB会を紹介いたします。「ゆでたまごの会」の案内のある会場には、三十人もの会員が詰めかけていました。（3月28日、蒲田、鳥方にて）

生物部 ゆでたまごの会

結成十四年目

会員同士のカップルが5組

大崎 会の名前の由来を聞かせてください。
永井 第一回目の総会に先輩がたたくさん来てくれて（36年度卒の幸松さんなど）昔、バクテリアの培養に毎日半熟たまごを使っていたんだというので「ゆでたまごの会」に決めたの。
大崎 会員数はどのくらい。
永井 名簿にのっているだけで百二十名います。
この人、妹さんだけでなく、生物部でも、大崎でもないの。坂田というやつ、五年前に死んだんだ。酒が好きでしょ。景信山が好きで、ものすごく楽しみにしているんで、毎年おれたちケルンを建ててる。妹さんが参加しておもしろい、というのでずっと景信山にも来ています。
それから生物部同士で五組もカップルができた。こなんかも抵抗しているけど。（六組の誕生か）

大崎 会が長続きする理由は何ですか。
佐野 名簿が誰かだからじゃないですか。在学中にキャンプに行きました。外でみんなでさわいであるのが楽しかったですね。その雰囲気もここにもあります。私の場合通知だけではだめなんです。来なさいって言われると、来るとですね。

恒例の景信山 キャンプ

大崎 会が長続きする理由は何ですか。
佐野 名簿が誰かだからじゃないですか。在学中にキャンプに行きました。外でみんなでさわいであるのが楽しかったですね。その雰囲気もここにもあります。私の場合通知だけではだめなんです。来なさいって言われると、来るとですね。

まだまだ続く

大崎 会が長続きする理由は何ですか。
佐野 名簿が誰かだからじゃないですか。在学中にキャンプに行きました。外でみんなでさわいであるのが楽しかったですね。その雰囲気もここにもあります。私の場合通知だけではだめなんです。来なさいって言われると、来るとですね。

出席者氏名

永井 研一（43年度卒）
傘 純也（51）
平林 良友（53）
広田 利彦（50）
鈴木 喜一（47）
佐野 たかね（48）
ほかのみさん
大崎 良江（41）

連絡先

平林 良友（会長）千四四
大田区北糀谷二ノ七〇七



第1回景信山キャンプ 1966年7月21日～22日



ゆでたまごの会の総会では遠慮なし

會員だより

「もう十六年」

飯塚 克己
(三十九年卒)

卒業証書を手し、何人かの仲間と大井町線のどこの駅の、どこかの喫茶店で、別れを惜しんだあの日。
模範学生でもなければ、悪童でもなかった小生、スポーツ青年でもなければ、文学青年でもなかった小生、ある時は友人と人生感を語り、ある時は歌を詠みし、またある時は少々のけんかもし、そして当時の自分にとって、精一杯の勉強もしたつもりでいる。我々の時代は男学生一対一に女学生二の割合であった。そんな女性が多いのに、三年間を男だけのクラスで過ごした。これを



判されたが、友人達からは長かったとほめられうれしかった。また映画同好会にも入会して、たぐさの映画も見廻った。思い出なきない大崎高校時代からもう十六年。小生も長き配役者になり、六才と四才の二人の息子の父となった。そして親の笑いたたき料理面を専らに発展させた。また廊下に出さずには、いつて

学校出てから 十余年

西田 益久
(四十一年卒)

大崎高校が生まれから十年を迎えますが、僕等が学んだのは昭和39年よりから母校の歴史の4分の1しか参加していません。
3年生の時の担任は、退職された小林多喜先生、転勤された松上三郎先生、古村アキ先生、斎藤貞保先生、松宮清治先生、そして今も職員室で話しかかれる山田三三先生、田島隆雄先生、三浦三郎先生でして、僕等の学生は、卒業後にも母校を訪れ、福留会を幹事会に、田島四郎先生を顧問に、矢野和子、杉田重男、大崎良江、千葉智男、松岡良樹、岸本新平、高橋公介、石井孝明、宮本博、山口健夫、大森記、加部正敏君のメンバーが顔揃えしました。今は校舎、道徳治の金網は派手なロック壁に、キニッキニ歩かたに鳴った大造は鉄筋校舎に、クラブハウスもモダンに、プールも出来、10年、道徳間題で揺れながらも今は体育館の改築へ、次は入試制度。我々が大崎に入るのは、九科目試験で第一志望大崎へ、さもなくば学区合格大崎へ。昭和42年から大崎・聖谷・南のどれかを選ぶ十三群



選抜。そして7年度からは、まず千代田港グループか、品川大田グループかを選び、次に学校を指定するグループ選抜。先生方は約3分の2が異動なされて、我々のニキビ顔で、存知な方は約20名程になりました。後輩の様子はと言いますと、最初にビックリしたのは昼休みのことでした。久しぶりに母校のグラウンドで生徒とキャッチボールでもやろうかなと校庭に出たところ、不思議や不思議、クラブの生徒がコート整備している以外は誰もいませんでした。昔ながら、昼食もそこを先を争ってソフト・バレー・バスケットをやったものでした。

さて、授業では、ほとんどの生徒が予習できていません。学力も学校群の影響で同程度の生徒が集まり、ゆるま湯的になっている感じがします。しかし、昔も今も、若さあふれて、はつらつとした高校生姿には変わりありません。定期考査前の真剣な表情、クラブ活動での生き生きとした姿など、我々の高校時代を思い出します。
大崎高校の夜は更けて
☆大崎高校全日制が70周年を迎えれば、同じ机に向かつて夜間勉強している定時制の歴史も30余年を数えます。クラブ活動を終えて夕日に染まる校門を出る頃、いれかわりに定時制の生徒が登校してきます。15年も前には、16級級八百人の生徒がいましたが、今では8級級百六十人になっています。同じ教室を使うので、昔は全日制と定時制が交換ノートをしたり、生徒会主催で全定交流会などを開きました。今は、学力差、生育環境に若干の差はあっても、年令的にも行動的にも全定の共通部分が多くなってきています。
大崎高校がさらに発展し、梧桐会の活動がさらに充実するため、協力をお願い致します。梧桐会、努力を致します。

近況など

金子 秀一
(五十一年卒)

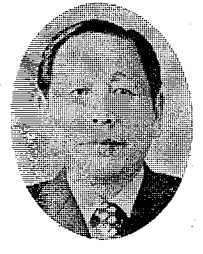
今、駿河台の日本大学に遠征しています。駿河台というところは心であるが、日大には田舎者が多く、なまりのある人間とつきあっている最近では、私の言葉は、少しなまってしまった。一年三百六十五日のうち、四分の一近々、山で過しています。
大抵の人は、大崎とは、三三三間のつきあいで終わってしまうのかも知れないが、私は山岳部のコーチをやっているのだから、今でも大崎に行きます。
と云う、山岳部というクラブは、以前から部員が少なく、多い年でも、三年生合わせて二十人くらいで、実態は三三三間という人数が少ないうえ、つきあいのないなまりの人間と、心酔している。コーチをやっている、これほど、情ないことはないが、今の現役連中が、OBになり、そのうち何人かは、僕よりも、山に登れるようになる、と思うと来た楽しい、コーチのしがらみがあるといふものだ。山へ行くと、

伝言板

▼名簿について
一部、一五〇〇円です。残り少なくなりましたが、今後は今までのような名簿がつくれません。会員数の増加で割高になってしまいかたです。
ご希望の方は、総会当日お買ひあつかひをお願いします。
▼職員の内職
退職
○小比賀英孝(学校長)
○大島信六(化学)
○石政雄二(体育)富山県へ
○竹内 昇(事務)北園高校へ
○渡辺ヨリ子(事務)大森高校へ
○中島 美(学校長) 野津田高校より
○秋山裕昭(化学)新採用

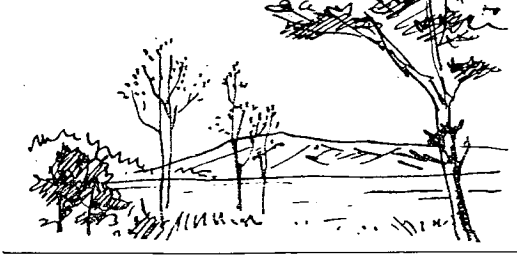
高次元の人間教育実践五ヶ条

前学校長 小比賀 英孝



一九八〇年代は、我が国にとりて
①国際協調で平和と繁栄を築く時代である
②産業構造の革新(知識集約型)の時代である
③エネルギーの多様化時代
④生活環境の質的向上、財政再建の時代
⑤高次元の人間教育、高福祉実現の時代の五つに集約できると思うのである。我が国の政

治経済教育文化の指導者がこの年代に以上の五つの課題を克服して「高度の教育文化と防衛力をもつ経済大国」が築かれ「健康で知性高く技術力に優れた人間性豊かな敬愛される日本人」の育成がはかられ、先進文明国を築くべきである。
第一に、学校内のすみずみまで清潔整頓が行きとどき、啓発的教養環境(心訓、進路情報、学力、体力向上、絵画等掲示)が創られている。
第二に、師を敬い、親に孝、友に友情と思いやり、国を愛する心が育っている。互いに力に、ハイスクールベネドクトリキラム」が創られ、その良風は、理想の学園が築かれている。
第三に、学力の向上、ひとりの個性や能力の伸長がはげしく、全国的に教育関係者から、大崎高



編輯後記
会報は會員のためにあります。遠くに住んでいる方にも、なかなか暇がなくてという方にも、大崎高校のことが會員のことが伝わるように心がけています。
記事がきっかけとなって卒業アルバムを開き、家族で語り始める様子を目にうかべながら、眠気まじりのコーヒーを一杯、頑張りました。